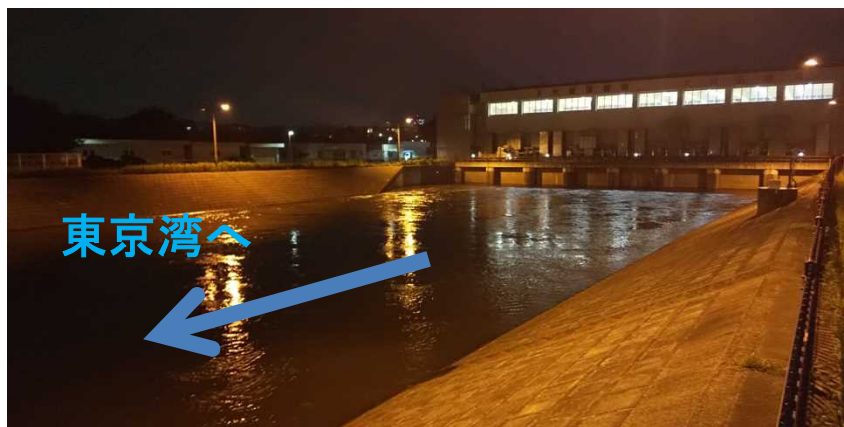
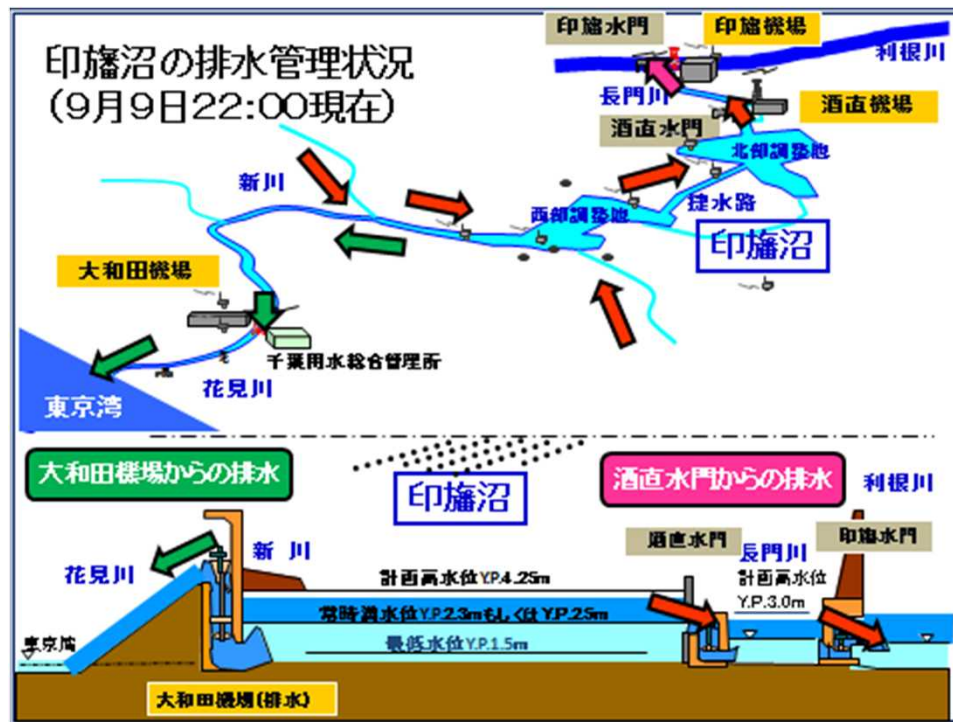


9月9～10日 大和田機場による排水運転を実施しました

- 千葉用水総合管理所は、台風第15号の接近に伴い、9月8日6:00から防災態勢を執っています。
- 台風による降雨に伴って水位が上昇している印旛沼の水位を常時満水位（YP2.3m）まで低下させるため、酒直水門のゲートを開けて長門川を通じて利根川に排水し、10日9:00現在も継続中です。
- これに加え、水位低下を早めるため、9月9日14:30～10日4:20の間、大和田機場のポンプを運転し、花見川を通じて東京湾へ約450万 m^3 （25mプール約1万杯分）の排水を行いました。
- なお大和田機場からの洪水時排水運転は平成29年10月30日以来、約2年ぶりとなります。



大和田機場から花見川への排水状況 (9/9 21:00)

大和田機場に漂着するナガエツルノゲイトウ等の塵芥除去